

# 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和4年度）の進捗状況について

<令和4年12月末現在>

保健福祉部高齢者支援課

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の実績	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
1 健康づくり・介護予防サービスの充実	特定健診・後期高齢者健診  ■計画書P36	国民健康保険加入者で40歳から74歳を対象に特定健診を実施します。また、後期高齢者医療保険加入者を対象に後期高齢者健診を実施します。 計画値 令和4年度 特定健診（65歳～74歳） 受診数 3,000人 後期高齢者健診（75歳以上） 受診数 1,600人	・特定健診（65歳～74歳） 令和4年度（4月～12月） 受診数 1,877人 令和4年度（年間見込み） 受診数 2,791人 令和3年度 受診数 2,837人 令和2年度 受診数 2,539人 ・後期高齢者健診 令和4年度（4月～12月） 受診数 972人 令和4年度（年間見込み） 受診数 1,431人 令和3年度 受診数 1,265人 令和2年度 受診数 1,232人	特定健診の受診数は、コロナ禍ではあるものの緩やかに回復してきている傾向です。後期高齢者健診は、被保険者数の増加に伴って、受診数が大幅に伸びてきています。引き続き、健診受診の重要性を理解して受診率が増加するような工夫が必要です。
	健診後の保健指導（重症化予防）  ■計画書P36	健診結果に合わせて個別の保健指導を実施し、高血圧や糖尿病の重症化予防ならびに脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎臓病（CKD）および認知症への進展を防ぎます。 計画値 令和4年度 健診後の保健指導 指導数 635人	健診後の保健指導（実） 令和4年度（4月～12月） 指導数 特定210人 後期58人 令和4年度（年間見込み） 指導数 特定565人 後期100人 令和3年度 指導数 特定545人 後期128人 令和2年度 指導数 731人	令和3年度より後期高齢者健診受診者で重症化予防が必要な方への保健指導を行っています。引き続き脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎臓病（CKD）や認知症への進展を防ぐために保健指導を実施していきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
1 健康づくり・介護予防サービスの充実	健康づくりセミナー (旧健康運動教室等)  ■計画書P37	一般高齢者(要介護認定者を除く。)を対象に一人ひとりの健診結果に合わせて、食べ方や運動方法の指導を行います。 計画値 令和4年度 参加者数 50人 コース数 5回	令和4年度(4月~12月) 参加者数 39人 コース数 5回 令和4年度(年間見込み) 参加者数 39人 コース数 5回 令和3年度 参加者数 29人 コース数 4回 令和2年度(健康運動教室) 参加者数 37人 コース数 5回	定員8名で1コース3回を5コース実施しました。計画では定員10名としていましたが、指導内容を充実させるため定員を変更して実施しました。どのコースもキャンセル待ちがでるほど盛況でした。健診データや生活実態に即した個別プログラムのため、ほぼ100%の方に、生活の変化(運動や食事)が見られました。令和3年度の受講者の半年後評価では、約7割が何かしら意識した生活を続けていました。
	食の個別相談(栄養相談)  ■計画書P37	フレイル予防を目的に、健診結果などをもとに、生活状況に合わせた個別の栄養相談や指導を行います。特に低栄養や高血圧および糖尿病の重症化予防を重点に行います。 計画値 令和4年度 指導数 80人	令和4年度(4月~12月) 指導数 45人 令和4年度(年間見込み) 指導数 60人 令和3年度 指導数 60人	血清アルブミン3.9未満の方の実態把握と保健指導を実施しました。 令和3年度の対象者の状況として、体格は標準体重の者が多く、痩せよりも肥満の方の中に出現割合は高い傾向でした。肉が苦手を食べない方や食品に偏りがあるなど、食に課題がありそうな方は2~3割おり、長年の食習慣を含め、生活をどう修正していくか、保健指導の工夫が必要と思われる。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
1 健康づくり・介護予防サービスの充実	ミニ健康講座  ■計画書P38	市内の団体およびグループを対象に保健師などが出向き、市の健診、医療および介護の実態や体（脳・心臓・腎臓）のしくみを学習する機会を作り、健康づくりや介護予防への動機づけを図ります。 計画値 令和4年度 実施回数 10回 参加人数 100人	令和4年度（4月～12月） 実施回数 19回 参加人数 256人 令和4年度（年間見込み） 実施回数 20回 参加人数 270人 令和3年度 実施回数 5回 実施人数 50人	令和3年度は感染症拡大のため、サークル活動が十分に実施されていなかったことから、サークルを対象とした当事業は実施しませんでした。今年度は計画どおり、サークルへ周知し、希望のあったサークルを対象に認知症予防をテーマとした講話を実施したため参加人数が増加しました。また、同じテーマで昨年度と同様に、運動と健康講座を組み合わせた健康推進課主催の講座も実施しました。 要介護になる原因の第1位である「認知症」をテーマにしたことで、興味をもった住民は多かったと考えています。
	高齢者出前健康講座  ■計画書P38	市内の5人以上の団体およびグループの依頼に応じて地域に出向き、生活習慣病予防、認知症予防およびいきいき百歳体操の体験など高齢者の健康維持や介護予防に関する知識を普及します。 計画値 令和4年度 実施回数 25回 参加人数 500人	令和4年度（4月～12月） 実施回数 12回 参加人数 184人 令和4年度（年間見込み） 実施回数 14回 参加人数 210人 令和3年度 実施回数 4回 参加人数 51人 令和2年度 実施回数 2回 参加人数 33人	出前健康講座の依頼は、令和2年度以降激減していましたが、今年度はコロナ前と同程度の団体数まで回復しました。希望内容としては、特に認知症予防への関心が高い印象を受けています。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進 重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
1 健康づくり・介護予防サービスの充実	健康増進講演会  ■計画書P39	生活習慣病予防や転倒予防、認知症予防などの高齢者の健康維持および介護予防に関する知識の普及を行います。 計画値 令和4年度 実施回数 2回 参加人数 100人	令和4年度（4月～12月） 実施回数 1回（8月） 参加人数 27人 （会場参加14人、オンデマンド配信13人） 令和4年度（年間見込み） 実施回数 1回（8月） 参加人数 27人 （会場参加14人、オンデマンド配信13人） 令和3年度 実施回数 1回（10月） 参加人数 43人 ※オンラインで3会場 令和2年度 実施回数 中止	健康増進講演会は、会場参加とオンデマンド配信の併用で実施しました。 オンデマンド配信により、50・60歳代の申し込み数は増加しましたが、実際の視聴人数は把握できていません。認知症の予防について興味をもった参加者が多かったという印象を受けています。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
1 健康づくり・介護予防サービスの充実	地域リハビリテーション活動推進事業  ■計画書P39	リハビリテーションに関する専門職（理学療法士、作業療法士および言語聴覚士など）が住民主体の通いの場などへ出向き、高齢者の身体能力を評価し改善の可能性を助言することで、介護予防の取組を支援します。 計画値 令和4年度 実施回数 10回 参加人数 100人	令和4年度（4月～12月） 実施回数 5回 参加人数 68人 令和4年度（年間見込み） 実施回数 7回 参加人数 90人 令和3年度 実施回数 2回 参加人数 21人 令和2年度 実施回数 0回 参加人数 0人	新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から休止していたサークルや通いの場も、活動を再開し始めたことから、地域福祉ボランティア団体等として登録している団体へ事業を周知し、団体の希望に応じ、少人数開催等、感染防止対策をとり実施しています。 リハビリテーション専門職と連携を図り、今後も介護予防の取組を支援していきます。
	【訪問型サービス】 介護予防訪問介護相当サービス  ■計画書P40	従来の介護予防訪問介護に相当するサービスで、事業対象者および要支援1・2の方が対象です。訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、洗濯、掃除等の家事を行うサービスです。 計画値 令和4年度 月平均 170人	令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】153人 令和3年度 利用者数【月平均】152人 令和2年度 利用者数【月平均】163人	前年度の実績と概ね変わりませんが、計画値を若干下回っています。
	【通所型サービス】 介護予防通所介護相当サービス  ■計画書P41	従来の介護予防通所介護に相当するサービスで、事業対象者および要支援1・2の方が対象です。 日中、デイサービスセンターなどに通い、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や機能訓練などを日帰りで提供するサービスで、利用者の心身機能の維持向上と、家族の介護負担軽減を図ります。 計画値 令和4年度 月平均 380人	令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】390人 令和3年度 利用者数【月平均】279人 令和2年度 利用者数【月平均】300人	前年度実績を大きく上回りました。 令和4年3月31日に市内の通所型サービスA提供の2事業所がすべて廃止となり、その利用者の多くが、本サービス利用に移行したものであるものです。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
1 生きがいのある暮らしの支援	【通所型サービス】 通所型サービスA  ■計画書P41	介護予防通所介護相当サービスに比べて事業者の人員配置等の指定基準を緩和しており、事業者ごとに多様なサービスを提供することができます。事業対象者および要支援1・2の方が対象です。 計画値 令和4年度 月平均 106人	令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 13人 令和3年度 利用者数【月平均】 113人 令和2年度 利用者数【月平均】 104人	前年度実績を大きく下回りました。 市内でサービスを提供していた2事業所ともに、令和4年3月31日で事業を廃止したため、4月以降、市内事業所での利用者がなくなりました。
	【通所型サービス】 通所型サービスC （短期集中機能訓練）  ■計画書P42	最長6か月の間に、リハビリテーション専門職による週1回の通所個別訓練と、期間中に2回の家庭訪問を行うことで、日常生活動作の機能向上と自立した生活をめざします。事業対象者および要支援1・2の方が対象です。 計画値 令和4年度 参加者数 3人 延べ参加回数 70回	令和4年度（4月～12月） 参加者数 4人 延べ利用回数 56回 令和4年度（年間見込み） 参加者数 5人 延べ利用回数 78回 令和3年度 参加者数 6人 延べ参加回数 74回 令和2年度 参加者数 6人 延べ参加回数 80回	参加者及び延べ参加回数年間見込みは昨年度実績と概ね変化はありません。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
2 日常生活に関する支援の充実	配食サービス	食事をすることが困難な高齢者および障がい者に対し、夕食時に栄養バランスのとれた食事を自宅へ届けることで、利用者の安定した食生活を確保し、自立した生活を送ることを支援するとともに、配達時に安否確認を行います。	配食サービスは、利用者のニーズに合わせて週7回まで利用することができ、利用者負担金は1食400円となります。	計画値と比較しますと利用者数は下回る見込みです。令和4年度から配食サービスの提供事業者が新たに2社増え、4社から選択できるようにしました。
	■計画書P42	また、高血圧や糖尿病など、食事に制限のある方には、医師の指示に従った「治療食」を提供します。 計画値 令和4年度 利用者数 250人 延べ食数 47,448食	令和4年度（4月～12月） 利用者数 128人（一般食） 利用者数 30人（治療食） 延べ食数 22,393食（一般食） 延べ食数 5,414食（治療食） 令和4年度（年間見込み） 利用者数 135人（一般食） 利用者数 35人（治療食） 延べ食数 29,857食（一般食） 延べ食数 7,220食（治療食） 令和3年度 利用者数 113人（一般食） 利用者数 35人（治療食） 延べ食数 30,254食（一般食） 延べ食数 9,847食（治療食） 令和2年度 利用者数 184人（一般食） 利用者数 70人（治療食） 延べ食数 29,803食（一般食） 延べ食数 14,007食（治療食）	

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
2 日常生活に関する支援の充実	除雪サービス  ■計画書P44	除雪作業が困難な高齢者および身体障がい者の世帯で、市内に除雪を支援する親族がいない低所得の世帯に対し、ボランティア等の協力員が玄関から公道までの通路部分の除雪を行います。 また、平成29年度からは、道路に面した間口の置き換え処理を選択できるように、事業内容を見直して実施しています。 計画値 令和4年度 利用者数 290人 うち通路除雪 232人 うち間口除雪 58人	令和4年度（4月～12月） 利用者数 246人（通路除雪） 利用者数 99人（間口除雪） 令和4年度（年間見込み） 利用者数 266人（通路除雪） 利用者数 109人（間口除雪） 令和3年度 利用者数 221人（通路除雪） 利用者数 57人（間口除雪） 令和2年度 利用者数 215人（通路除雪） 利用者数 57人（間口除雪）	計画値と比較しますと利用者数が上回っており、令和4年1～2月の大雪の影響等により、令和4年度年間見込利用者数は前年度と比較して97人増の375人と、大幅に増加しています。 除雪の担い手となるボランティアの確保が難しくなってきた状況です。
	訪問理容サービス  ■計画書P44	在宅で寝たきりの状態にあり、自力で理髪店へ出向くことができない高齢者および重度身体障がい者に対し、理容師が利用者宅を訪問して散髪を行います。 計画値 令和4年度 利用者数 55人	利用回数は年6回以内となります。ただし、利用開始決定月が6月以降の場合は利用回数の上限が減ります。 令和4年度（4月～12月） 利用者数 68人 令和4年度（年間見込み） 利用者数 72人 令和3年度 利用者数 64人 令和2年度 利用者数 56人	概ね計画のとおり進んでいます。



No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 1 健康づくりと日常生活を支援する体制整備				
2 日常生活に関する支援の充実	テレホンサービス  ■計画書P45	ひとり暮らしの高齢者の方に、ボランティアが電話をかけ、健康状態や日常生活での困りごと等を聞くことにより、コミュニケーションを図ります。 また、要介護認定を受けていない方に対して、6か月に1回程度、自宅を訪問して安否確認を行います。 計画値 令和4年度 利用者数 9人	令和4年度(4月~12月) 利用者数 6人 令和4年度(年間見込み) 利用者数 6人 令和3年度 利用者数 6人 令和2年度 利用者数 8人	計画値と比較しますと利用者数は下回る見込みですが、ひとり暮らしの高齢者にとっての話し相手および安否確認に役立っています。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進 重点課題 2 生きがいと社会参加の促進				
1	長寿祝福事業  ■計画書P46	長寿を祝福するとともに、長年にわたり社会に貢献した労をねぎらうため、満100歳を迎えられた方に祝金を贈呈します。 計画値 令和4年度 対象者数 45人	令和4年度(4月~12月) 対象者数 10人 令和4年度(年間見込み) 対象者数 18人 令和3年度 対象者数 28人 令和2年度 対象者数 21人	今後も長寿を祝福していきます。
	老人クラブ活動の充実  ■計画書P46	老人クラブ活動は、生きがいづくりや健康づくりだけでなく、活動に参加される高齢者の閉じこもり予防につながっていることから、新たに作られた老人クラブには、初年度に備品を貸与するなどの支援を行います。 計画値 令和4年度 団体数 28か所 加入者数 955人	令和4年度(4月~12月) 団体数 23か所 対象者数 691人 令和4年度(年間見込み) 団体数 23か所 対象者数 691人 令和3年度 団体数 25か所 対象者数 769人 令和2年度 団体数 28か所 対象者数 986人	前年度と比較し団体数2団体、加入者数は78人減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、老人クラブの活動は減少傾向にあります。
	生きがいのある暮らしの支援			

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進 重点課題 2 生きがいと社会参加の促進				
1 生きがいのある暮らしと支援	きたひろ健康ポイント事業  ■計画書P47～49	ボランティア活動や高齢者の健康づくり、健康寿命の延伸、生きがいづくり等の活動に対してポイントの付与による奨励及び支援を通じ、地域での支え合い体制づくりや自らの介護予防を促します。 また、市民の自主的なボランティア活動を推進するため、ミニデイサービス等を実施する団体に活動費等を助成します。  計画値 令和4年度 ・ミニデイサービス 団体数 24 か所 ボランティア登録人数 200人 1回あたりの平均参加者数 15人	<p>&lt;ポイント事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度(4月～12月) 手帳交付冊数 7,400冊 ※ポイントの集計・交換は令和5年度実施予定</li> </ul> <p>&lt;ミニデイサービス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度(4月～12月) 団体数 16 団体 実施延べ回数 339回 利用延べ人数 3,476人 ボランティア登録人数 122人 1回あたりの平均参加者数 10.2人</li> <li>令和4年度(年間見込み) 団体 17 団体 実施延べ回数 451回 利用延べ人数 4,632人 ボランティア登録人数 125人 1回あたりの平均参加者数 10.2人</li> <li>令和3年度 団体数 17 団体 実施延べ回数 316回 利用延べ人数 2,177人 ボランティア登録人数 124人 1回あたりの平均参加者数 6.8人</li> <li>令和2年度 団体数 14 団体 実施延べ回数 367回 利用延べ人数 2,577人 ボランティア登録人数 186人 1回あたりの平均参加者数 7人</li> </ul>	ミニデイサービス支援事業、介護支援ボランティア事業、ふれあい温泉事業を統合し、令和4年度から事業を開始しています。 多くの方にご参加いただけるよう、今後も積極的に事業の周知を行います。

<p>きたひろ健康ポイント事業（続き）</p> <p>■計画書P47～49</p>	<p>きたひろ健康ポイント事業（続き）</p> <p>■計画書P47～49</p>	<p>• いきいきサロン  団体数 6 か所  1 回あたりの平均参加者数 13 人</p> <p>• 介護支援ボランティア事業  登録者数 400 人  活動者数 320 人  活動施設数 35 か所</p>	<p>&lt;いきいきサロン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 令和 4 年度（4 月～12 月）  団体数 4 団体  実施延べ回数 54 回  利用延べ人数 674 人  1 回あたりの平均参加者数 12.5 人</li> <li>• 令和 4 年度（年間見込み）  団体数 4 団体  実施延べ回数 72 回  利用延べ人数 900 人  1 回あたりの平均参加者数 12.5 人</li> <li>• 令和 3 年度  団体数 2 団体  実施延べ回数 20 回  利用延べ人数 188 人  1 回あたりの平均参加者数 9.4 人</li> <li>• 令和 2 年度  団体数 3 団体  実施延べ回数 37 回  利用延べ人数 386 人  1 回あたりの平均参加者数 10.4 人</li> </ul> <p>&lt;介護支援ボランティア事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 令和 4 年度  ポイント事業に統合</li> <li>• 令和 3 年度  登録者数 188 人</li> <li>• 令和 2 年度  登録者数 349 人</li> </ul>	
---	---	---	--	--

<p>きたひろ健康ポイント事業（続き）</p> <p>■計画書P47～49</p>	<p>・ふれあい温泉事業 利用者延べ人数 30,000人</p>	<p>&lt;ふれあい温泉事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 ポイント事業に統合</li> <li>・令和3年度 利用者 13,597人</li> <li>・令和2年度 利用者 13,452人</li> </ul>	
---	--------------------------------------	--	--

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
<p>基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進 重点課題 2 生きがいと社会参加の促進</p>				
<p>1</p> <p>生きがいのある暮らしの支援</p>	<p>介護予防拠点助成金</p> <p>■計画書P50</p>	<p>空き家などを活用して、介護予防や認知症予防を実施する集いの場や高齢者の憩いの場を整備する際に、改修費などの一部を補助し、介護予防拠点の整備を推進します。</p> <p>計画値 令和4年度 交付件数 3件</p>	<p>令和4年度（4月～12月） 交付件数 0件 令和4年度（年間見込み） 交付件数 0件 令和3年度 交付件数 0件 令和2年度 交付件数 0件</p>	<p>制度開始より利用実績はまだありませんが、高齢者の様々な活動の場づくりに有効な事業と考えていることから、制度利用の促進に向けたPRなどに努めます。</p>
	<p>地域たすけあい活動助成金</p> <p>■計画書P50</p>	<p>高齢者の日常生活支援および介護予防の活動を自主的に行う団体に対して、その団体の設立にかかる経費などを助成します。</p> <p>計画値 令和4年度 交付件数 3件</p>	<p>令和4年度（4月～12月） 交付件数 0件 令和4年度（年間見込み） 交付件数 0件 令和3年度 交付件数 1件 令和2年度 交付件数 0件</p>	<p>高齢者の様々な活動の場づくりに有効な事業と考えていることから、制度利用の促進に向けたPRなどに努めます。</p>

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 1 健康づくりと介護予防の促進				
重点課題 2 生きがいと社会参加の促進				
2 就労機会の確保	<p>シルバー活動センター事業</p> <p>■計画書P52</p>	<p>シルバー活動センターは、主に高齢者および高齢者と交流する催しに参加する方が優先的に使用できる施設で、高齢者の活動拠点として生きがいづくりや社会参加、交流の場として利用されています。</p> <p>「公益社団法人北広島市シルバー人材センター」による指定管理者制度を活用した、シルバー活動センターの管理運営状況は、利用者数増加への取組や指定管理者モニタリング評価が実施され、適切な運営が行われています。</p> <p>計画値 令和4年度 利用延べ人数 12,000人 利用延べ団体数 1,900団体</p>	<p>令和4年度（4月～12月） 利用延べ人数 7,240人 利用延べ団体数 918団体</p> <p>令和4年度（年間見込み） 利用延べ人数 9,652人 利用延べ団体数 1,224団体</p> <p>令和3年度 利用延べ人数 6,695人 利用延べ団体数 911団体</p> <p>令和2年度 利用延べ人数 7,700人 利用延べ団体数 1,064団体</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3、4年度は利用者数が減少傾向にありますが、今後も高齢者が使いやすい施設をめざし、利用者の増加につながるよう適切な管理に努めます。</p>

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実				
重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
1 住み慣れた地域や家庭での生活の継続	【居宅サービス】 訪問介護  ■計画書P54	訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の身体介護や調理、洗濯、掃除等の生活援助を行うサービスです。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 378人	・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 394人 令和3年度 利用者数【月平均】 412人 令和2年度 利用者数【月平均】 395人	利用者数は令和3年度以降計画値を上回っております。 新型コロナウイルス感染を避けるため、不特定多数の人との接触がない在宅サービスの選択によるものと考えられます。
	【居宅サービス】 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護  ■計画書P55	自宅の浴槽での入浴が困難な方に対して、浴槽を積んだ入浴車が利用者の自宅を訪問し、看護職員や介護職員が入浴の介護を行うサービスです。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 24人 介護給付（要支援） 利用者数【月平均】 0人	・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 21人 令和3年度 利用者数【月平均】 19人 令和2年度 利用者数【月平均】 19人 ・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 0人 令和3年度 利用者数【月平均】 0人 令和2年度 利用者数【月平均】 0人	介護給付・予防給付ともに前年度実績及び計画値と概ね変わりありません。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実 重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
1 住み慣れた地域や家庭での生活の継続	<p>【居宅サービス】 訪問看護・介護予防訪問看護</p> <p>■計画書P55</p>	<p>医師の指示に基づき、看護師等が利用者の自宅を訪問し、健康状態の確認、療養上の世話または必要な診療の補助を行うサービスです。</p> <p>計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 322人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 59人</p>	<p>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 344人 令和3年度 利用者数【月平均】 342人 令和2年度 利用者数【月平均】 304人 ・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 82人 令和3年度 利用者数【月平均】 73人 令和2年度 利用者数【月平均】 56人</p>	<p>介護給付・予防給付ともに前年度実績及び計画値を上回りました。</p> <p>新型コロナウイルスの感染を避けるため、不特定多数の人との接触がない在宅でのサービスを希望する方の増加によるものと考えられます。</p>
	<p>【居宅サービス】 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション</p> <p>■計画書P56</p>	<p>医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師などの専門職が利用者の自宅を訪問し、利用者の心身機能の維持回復および日常生活の自立を助けるために機能訓練を行うサービスです。</p> <p>計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 65人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 12人</p>	<p>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 67人 令和3年度 利用者数【月平均】 52人 令和2年度 利用者数【月平均】 54人 ・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 23人 令和3年度 利用者数【月平均】 15人 令和2年度 利用者数【月平均】 14人</p>	<p>介護給付・予防給付ともに前年度実績及び計画値を上回っています。</p> <p>新型コロナウイルスの感染を避けるため、不特定多数の人との接触がない在宅でのサービスを希望する方の増加によるものと考えられます。</p>



No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実 重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
1 住み慣れた地域や家庭での生活の継続	【居宅サービス】 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導  ■計画書P56	通院が困難な方に対して、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士などが利用者の自宅を訪問し、療養上の管理や指導、助言等を行うサービスです。 また、介護支援専門員に対して、ケアプランの作成に必要な情報提供も行います。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 525人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 58人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 868人 令和3年度 利用者数【月平均】 821人 令和2年度 利用者数【月平均】 730人</li> <li>・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 73人 令和3年度 利用者数【月平均】 76人 令和2年度 利用者数【月平均】 61人</li> </ul>	近年、利用が急増しているサービスです。制度の周知、医療と介護の連携が推進されてきているものと推測しています。なお、予防給付は前年度と概ね同数で推移しています。
	【居宅サービス】 通所介護  ■計画書P57	日中、通所介護施設、介護老人福祉施設などで、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などを日帰りで提供するサービスで、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族の負担軽減を図ります。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 505人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 430人 令和3年度 利用者数【月平均】 426人 令和2年度 利用者数【月平均】 433人</li> </ul>	前年度に引き続き計画値を下回りました。 新型コロナウイルスの感染を避けるため、不特定多数の人との接触があるサービスの利用控えによるものと考えられます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実 重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
1 住み慣れた地域や家庭での生活の継続	【居宅サービス】 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション  ■計画書P57	日中、介護老人保健施設や診療所、病院で食事、入浴のほか、日常生活の自立を助けるために理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、柔道整復師などが必要な機能訓練を行い、利用者の心身機能の維持回復を図るサービスです。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 292人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 141人	・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 225人 令和3年度 利用者数【月平均】 220人 令和2年度 利用者数【月平均】 235人 ・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月） 利用者数【月平均】 122人 令和3年度 利用者数【月平均】 113人 令和2年度 利用者数【月平均】 108人	介護給付及び予防給付ともに、前年度実績を上回っておりますが計画値を下回りました。 新型コロナウイルスの感染を避けるため、不特定多数の人との接触があるサービスの利用控えによるものと考えられます。
	【居宅サービス】 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護  ■計画書P58	特別養護老人ホームなどの施設に短期間入所してもらい、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や機能訓練などを行うサービスです。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 107人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 7人	・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 85人 令和3年度 利用者数【月平均】 84人 令和2年度 利用者数【月平均】 83人 ・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 3人 令和3年度 利用者数【月平均】 3人 令和2年度 利用者数【月平均】 3人	介護給付及び予防給付ともに前年度実績と概ね変わりありませんが、計画値を下回りました。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実				
重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
1 住み慣れた地域や家庭での生活の継続	【居宅サービス】 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護  ■計画書P59	介護老人保健施設や診療所、病院などに短期間入所してもらい、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師などによる医療や機能訓練、日常生活上の支援などを行うサービスです。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】28人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護）</li> <li>令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】21人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】23人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】20人</li> <li>・予防給付（要支援）</li> <li>令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】0人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】0人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】0人</li> </ul>	介護給付は計画値を下回っておりますが、前年度実績と概ね同数で推移しております。
	【居宅サービス】 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護  ■計画書P60	介護サービス事業所としての指定を受けた介護付有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などが、入居している利用者に対して、入浴・排せつ・食事等の介護、その他必要な日常生活上の支援を行います。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】132人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】31人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護）</li> <li>令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】108人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】115人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】122人</li> <li>・予防給付（要支援）</li> <li>令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】26人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】28人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】28人</li> </ul>	介護給付・予防給付ともに前年度実績及び計画値を下回りました。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実				
重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
1 住み慣れた地域や家庭での生活の継続	【居宅サービス】 福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与  ■計画書P60	利用者の状況に合わせた適切な福祉用具（車いすやベットなど）を貸与することにより、日常生活における自立支援および介護者の負担軽減を図るサービスです。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 791人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 247人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 781人 令和3年度 利用者数【月平均】 780人 令和2年度 利用者数【月平均】 719人</li> <li>・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 291人 令和3年度 利用者数【月平均】 242人 令和2年度 利用者数【月平均】 229人</li> </ul>	介護給付は前年度実績値概ね同数で推移しておりますが計画値を下回っております。予防給付は前年度実績及び計画値を上回っております。要支援認定者の増加によるものと考えられます。
	【居宅サービス】 特定福祉用具購入・介護予防特定福祉用具購入  ■計画書P61	利用者の状況に合わせた適切な福祉用具（入浴や排せつに係るものなど）の購入費を補助することにより、日常生活における自立支援および介護者の負担軽減を図るサービスです。福祉用具購入の対象となるものは、その用途が「貸与になじまないもの」とされています。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 16人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（4月～11月分） 利用者数【月平均】 13人 令和3年度 利用者数【月平均】 12人 令和2年度 利用者数【月平均】 16人</li> <li>・予防給付（要支援） 令和4年度（4月～11月分） 利用者数【月平均】 5人 令和3年度 利用者数【月平均】 6人 令和2年度 利用者数【月平均】 7人</li> </ul>	介護給付及び予防給付ともに前年度実績と概ね同数で推移しておりますが、介護給付は計画値を下回っております。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実 重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
1 住み慣れた地域や家庭での生活の継続	【居宅サービス】 居宅介護住宅改修・介護予防住宅改修  ■計画書P61	在宅の利用者が、自宅で生活が続けられるように、住宅の改修を行うサービスです。ケアマネジャーなどにより、住宅改修が必要な理由書を作成し、回収を行います。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 15人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 14人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（4月～11月分） 利用者数【月平均】 11人 令和3年度 利用者数【月平均】 10人 令和2年度 利用者数【月平均】 16人</li> <li>・予防給付（要支援） 令和4年度（4月～11月分） 利用者数【月平均】 11人 令和3年度（4月～12月） 利用者数【月平均】 13人 令和2年度 利用者数【月平均】 11人</li> </ul>	介護給付及び予防給付ともに前年度実績と概ね同数で推移しておりますが、計画値を下回っております。
	【居宅サービス】 居宅介護支援・介護予防支援  ■計画書P61	介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャーが心身の状況や生活環境、利用者・家族の希望等に沿ってケアプランを作成し、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。 制度上「自宅」とされる住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の利用者も利用します。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 1,331人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 364人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 1,183人 令和3年度 利用者数【月平均】 1,208人 令和2年度 利用者数【月平均】 1,199人</li> <li>・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 432人 令和3年度 利用者数【月平均】 377人 令和2年度 利用者数【月平均】 351人</li> </ul>	介護給付は前年度実績及び計画値を下回りましたが 予防給付は前年度実績及び計画値を上回りました。要支援者の認定者数の増加が要因と考えられます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実				
重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
2 地域の 実情に 合わせた サービスの 提供体制	【地域密着型サービス】 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護  ■計画書P63	日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が一体的にまたは密接に連携しながら、定期巡回と随時の対応を行います。 1つの事業所で訪問介護と訪問看護を一体的に提供する「一体型」と訪問介護を行う事業者が地域の訪問看護事業所と連携をしてサービスを提供する「連携型」があります。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 58人	・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 45人 令和3年度 利用者数【月平均】 47人 令和2年度 利用者数【月平均】 44人	利用者数は横ばいとなっておりますが、計画値を下回っている状況です。
	【地域密着型サービス】 地域密着型通所介護  ■計画書P63	日中、利用定員18人以下の小規模のデイサービスセンターなどで、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などを日帰りで提供するサービスで、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族の負担軽減を図ります。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 173人	・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 139人 令和3年度 利用者数【月平均】 154人 令和2年度 利用者数【月平均】 153人	前年度実績及び計画値を下回りました。 新型コロナウイルスの感染を避けるため、不特定多数の人との接触があるサービスの利用控えと、令和4年3月31日に1事業所の閉鎖によるものと考えられます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実				
重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
2 地域の 実情に 合わせた サービスの 提供体制	【地域密着型サービス】 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護  ■計画書P64	デイサービスセンターや特別養護老人ホームなどにおいて、通所してきた認知症の利用者に対して、入浴、排せつ、食事等の介護や生活等に関する相談、健康状態の確認、機能訓練等を行います。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 32人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 15人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】 20人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】 23人</li> <li>・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 0人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】 0人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】 0人</li> </ul>	介護給付は前年度実績及び計画値を下回りました。 新型コロナウイルスの感染を避けるため、不特定多数の人との接触があるサービスの利用控えによるものと、2事業所の休止、令和4年7月31日での1事業所の閉鎖によるものと考えられます。
	【地域密着型サービス】 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護  ■計画書P64	通いによるサービスを中心に、利用者の希望などに応じて、訪問や宿泊を組み合わせ、入浴、排せつ、食事等の介護、その他日常生活上の世話、機能訓練を行います。 計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 34人 予防給付（要支援） 利用者数【月平均】 7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付（要介護） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 38人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】 34人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】 31人</li> <li>・予防給付（要支援） 令和4年度（3月～10月利用分） 利用者数【月平均】 4人</li> <li>令和3年度 利用者数【月平均】 6人</li> <li>令和2年度 利用者数【月平均】 7人</li> </ul>	介護給付及び予防給付は前年度実績及び計画値と概ね変わりありません。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実				
重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
2 地域の 実情に 合わせた サービスの 提供体制	【地域密着型サービス】 認知症対応型共同生活 介護・介護予防認知症 対応型共同生活介護 (グループホーム)  ■計画書P65	認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練を行います。 計画値 令和4年度 介護給付(要介護) 利用者数【月平均】 199人 予防給付(要支援) 利用者数【月平均】 0人	・介護給付(要介護) 令和4年度(4月～10月利用分) 利用者数【月平均】 195人 令和3年度 利用者数【月平均】 198人 令和2年度 利用者数【月平均】 198人 ・予防給付(要支援) 令和4年度(4月～10月利用分) 利用者数【月平均】 0人 令和3年度 利用者数【月平均】 0人 令和2年度 利用者数【月平均】 0人	介護給付は前年度実績及び計画値と概ね変わりません。
	【地域密着型サービス】 看護小規模多機能型居 宅介護  ■計画書P65	「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせ提供するサービスで、要介護度が高く、医療的なケアを必要とする方が、住み慣れた家や地域で安心して生活することが可能になります。 計画値 令和4年度 介護給付(要介護) 利用者数【月平均】 26人	・介護給付(要介護) 令和4年度(4月～10月利用分) 利用者数【月平均】 20人 令和3年度 利用者数【月平均】 18人 令和2年度 利用者数【月平均】 20人	前年度実績と概ね同数で推移しており、昨年度に引き続き、計画値を下回っております。



No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実 重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
2 地域の 実情に 合わせた サービスの 提供体制	【施設サービス】 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)  ■計画書P66	寝たきりや認知症などで、常に介護が必要で自宅での生活が難しい方のための施設です。入所により、入浴・排せつ・食事などの介護、機能訓練、健康管理、療養上の世話などが受けられます。 計画値 令和4年度 利用者数【月平均】 237人	・介護給付(要介護) 令和4年度(4月～10月利用分) 利用者数【月平均】 240人 令和3年度 利用者数【月平均】 234人 令和2年度 利用者数【月平均】 236人	前年度実績及び計画値を上回りました。 令和4年1月1日から5床が短期入所生活介護から転床したことにより利用者数が増加しております。
	【施設サービス】 介護老人保健施設 (老人保健施設)  ■計画書P66	入所者に対して機能訓練などの医療サービスを提供し、家庭への復帰をめざす施設です。利用者の状態に合わせた施設サービス計画(ケアプラン)に基づき、医学的管理のもとで、看護、機能訓練、食事・入浴・排せつなどの日常生活上の介護などを併せて受けることができます。 計画値 令和4年度 利用者数【月平均】 101人	・介護給付(要介護) 令和4年度(4月～10月利用分) 利用者数【月平均】 102人 令和3年度 利用者数【月平均】 92人 令和2年度 利用者数【月平均】 99人	前年度実績及び計画値を上回っております。市外の施設利用者が増加していることが要因となっております。
	【施設サービス】 介護療養型医療施設 (療養型病床群等)  ■計画書P67	慢性疾患を有し、長期の療養が必要な方のために、介護職員が手厚く配置された医療機関(施設)です。病状は安定していても自宅での療養生活は難しい方が入所して、必要な医療サービス、日常生活における介護、機能訓練などを受けることができます。 計画値 令和4年度 利用者数【月平均】 5人	・介護給付(要介護) 令和4年度(4月～10月利用分) 利用者数【月平均】 4人 令和3年度 利用者数【月平均】 5人 令和2年度 利用者数【月平均】 5人	前年度実績及び計画値と概ね変わりません。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護サービスの充実				
重点課題1 介護給付等対象サービスの充実・強化				
2 地域の 実情に 合わせた サービスの 提供体制	<p>【施設サービス】 介護医療院</p> <p>■計画書P67</p>	<p>今後増加が見込まれる慢性期の医療や介護ニーズに対応するため、日常的な医学的管理が必要な重度の介護者の受入れや看取り等の機能と、生活施設としての機能を兼ね備えた新たな介護保険施設です。</p> <p>計画値 令和4年度 介護給付（要介護） 利用者数【月平均】 49人</p>	<p>・介護給付（要介護） 令和4年度（4月～10月利用分） 利用者数【月平均】 41人 令和3年度 利用者数【月平均】 43人 令和2年度 利用者数【月平均】 41人</p>	<p>前年度実績と概ね変わりませんが計画値を下回りました。</p>

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標2 介護保険サービスの充実 重点課題2 介護保険サービスの基盤強化				
1 人材確保対策	介護従事者人材バンク ■計画書P70	平成29年度から市内の介護施設等で就労を希望する方を支援するため、介護従事者人材バンクを設置しています。人材バンクに登録すると、施設が採用を希望したときに、施設から連絡がくる仕組みとなっています。 計画値 令和4年度 登録者数 10人 就労者数 6人	介護従事者人材バンク 令和4年度(4月~12月) 登録者数 9人 就労者数 0人 令和3年度 登録者数 9人 就労者数 0人 令和2年度 登録者数 9人 就労者数 0人	令和4年度は登録者から就労に繋がった実績はありません。 事業所及び求職者のニーズに合った内容について検討が必要と考えています。
	市民ソーシャルワーカー養成講座 (くらしサポーター研修より名称・内容変更) ■計画書P70	地域で支援を必要としている高齢者等への理解を深めるとともに、地域共生について学び、幅広く助け合える地域体制を構築することを目的として市民ソーシャルワーカー養成講座を実施します。  計画値(くらしサポーター研修) 令和4年度 実施回数 1回 参加者数 20人	令和4年度(年間見込み) 実施回数 1回 (令和5年2月23日実施予定) 令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	くらしサポーター研修で実施していた高齢者支援の内容に加え、高齢者以外で支援を必要としている方への支援等についても理解を深め、幅広く助け合える地域づくりを目指す内容で実施します。
	合同就職説明会 ■計画書P71	市内の介護従事者確保のため、介護事業所の合同就職説明会を実施します。 計画値 令和4年度 開催回数 1回 参加者数 50人 出展法人数 15か所	令和4年度(年間見込み) 開催回数 0回 令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和2年度 オンライン就職相談会の実施 問い合わせ数 1件 実施件数 0件 出展法人数 22か所	令和4年度実施予定はありません。 事業所及び求職者のニーズに合った内容について検討が必要と考えています。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の実績	評価と課題等
基本目標2 介護保険サービスの充実 重点課題2 介護保険サービスの基盤強化				
1 人材確保対策	福祉人材確保対策就労支援金  ■計画書 P72	平成30年7月から市内事業所、施設に新規に就労する方に対し、助成金を支給することにより、サービス提供体制の確保を図るとともに、市内への定住を促進するため、市外からの転入者に対しては支援金を加算します。 計画値 令和4年度 新規就労者数 80人	令和4年度(4月~12月) 新規就労者数 63人 (介護35人/障がい福祉15人/保育13人) 支給金額 6,900,000円 令和4年度(見込み) 新規就労者数 75人 支給金額 8,100,000円 令和3年度 新規就労者数 84人 (介護50人/障がい福祉7人/保育27人) 支給金額 9,100,000円 令和2年度 新規就労者数 97人 (介護55人/障がい福祉24人/保育18人) 支給金額 9,950,000円	人材確保対策に有効な事業と考えられることから、効果的な手法について検討しながら、引き続き事業を継続していきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題1 地域包括ケアシステムの深化・推進				
1 地域包括ケアシステムの深化・推進	高齢者サービス啓発事業  ■計画書P73	高齢者が利用できる各種制度の紹介や暮らしの情報を提供するため、「高齢者サービスガイド」を発行しています。介護保険制度や高齢者が参加できるサークル、ボランティア団体等を紹介し、高齢者の介護予防の促進、閉じこもり予防、生きがいつくりを利用していただくものです。 「65歳到達者」、「75歳到達者」、「65歳以上の転入者」を対象に毎年実施している「高齢者生活実態調査」の際に配布しているほか、市役所や出張所等の窓口などでも配布しています。 計画値 令和4年度 サービスガイド発行部数 6,000部	令和4年度 サービスガイド発行部数 3,000部 令和3年度 サービスガイド発行部数 3,000部 令和2年度 サービスガイド発行部数 6,000部	最新の情報の提供とわかりやすい誌面構成を図ります。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進 重点課題1 地域包括ケアシステムの深化・推進				
1 地域包括ケアシステムの深化・推進	高齢者実態把握事業 ■計画書P74	高齢者の生活実態を把握するために「65歳到達者」、「75歳到達者」、「65歳以上の転入者」を対象に、民生委員・児童委員と連携を図り、高齢者の健康と生活状況を個別訪問により調査し、必要に応じて相談支援へつなぐ対応を行っています。高齢者の情報を一元的に管理し、市と高齢者支援センターが情報を共有することで、高齢者の状況に応じた相談等の対応ができ、適切で効率的な支援につながっています。 計画値 令和4年度 実態調査件数 1,900人 うち65歳到達者 900人 うち75歳到達者 1,000人	令和4年度 調査件数 1,731人 内65歳到達者 816人 内75歳到達者 788人 内65歳以上転入者 127人 令和3年度 調査件数 1,634人 内65歳到達者 855人 内75歳到達者 659人 内65歳以上転入者 120人 令和2年度 調査件数 1,801人 内65歳到達者 865人 内75歳到達者 773人 内65歳以上転入者 163人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止も考慮し、郵送による調査票の回収と、民生委員児童委員の訪問による調査票の回収の2種類の方法で実施しました。
	高齢者等地域見守り事業 ■計画書P75	ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、高齢者の孤立死が発生していることから、介護事業者、郵便局、配食業者、新聞販売店など的高齢者の自宅を訪問する事業者の幅広いネットワークを活用し、高齢者の生活に異変が感じられた場合に、市や高齢者支援センターに連絡をしてもらい、安否の確認を行います。 計画値 令和4年度 協力機関数 25か所	令和4年度(4月～12月) 協力機関数 35か所 令和4年度(年間見込み) 協力機関数 35か所 令和3年度 協力機関数 35か所 令和2年度 協力機関数 35か所	今後も事業者等の協力を得て、地域で支え合う体制の充実を図ります。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題1 地域包括ケアシステムの深化・推進				
1 地域包括ケアシステムの深化・推進	窓口・電話等相談事業 ■計画書P75	高齢者支援センターおよび関係機関と連携を図りながら、市の保健師、社会福祉士または栄養士が窓口、電話および家庭訪問により、高齢者と家族の健康、福祉および介護に関わる相談に対応します。 計画値 令和4年度 相談件数 2,500件	令和4年度(4月~12月) 相談件数 1,266件 令和4年度(年間見込み) 相談件数 1,700件 令和3年度 相談件数 1,774件 令和2年度 相談件数 1,909件	複雑・多様な課題を抱えている家庭の相談が増えており、高齢者支援センターとの同行や健康推進課、関係機関と連携を図りながら対応しています。
	高齢者支援センターの運営 ■計画書P76	高齢者やその家族が安心して地域で生活できるよう、健康、医療、介護、福祉、生活支援および住まいなどに関する相談や各種サービスの調整など、総合的に支援する機関として設置します。 市内4か所の高齢者支援センターに保健師、社会福祉士および主任介護支援専門員の三職種を配置し、総合相談支援業務、権利擁護業務および包括的・継続的ケアマネジメント業務を行います。また、予防給付(要支援1・2の方および事業対象者)のケアマネジメントを行う指定介護予防支援事業所の機能も担います。 計画値 令和4年度 職員数 25.5人工 ケアマネジメント件数 6,500件 ケアマネジメント管理件数 8,700件	令和4年度(4月~12月) 総合相談延べ件数(訪問・来所・電話) 17,247件 ケアマネジメント件数 5,879件 ケアマネジメント管理件数 7,062件 令和4年度(年間見込み) 設置数 4か所 職員数 25.5人工 総合相談延べ件数(訪問・来所・電話) 22,000件 ケアマネジメント件数 7,840件 ケアマネジメント管理件数 9,415件 令和3年度 設置数 4か所 職員数 24.5人工 総合相談延べ件数(訪問・来所・電話) 21,465件 ケアマネジメント件数 7,129件 ケアマネジメント管理件数 8,775件 令和2年度 設置数 4か所 職員数 24.5人工 総合相談延べ件数(訪問・来所・電話) 20,007件 ケアマネジメント件数 6,627件 ケアマネジメント管理件数 8,719件	職員数は、昨年度から1人工増で配置しています。総合相談件数は増加傾向です。コロナ禍にて高齢者が自宅で過ごす時間が長くなる傾向にあり、感染防止に配慮し、生活状況の把握・相談支援にあたりました。今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年が迫り、相談数の増加が見込まれます。これからも高齢者が安心して暮らせることを目指し、関係機関との連携を密に図りながら、継続的に対応していきます。地域包括ケアシステムの実現へ向け、地域での支え合い体制による閉じこもり予防、フレイル予防、認知症高齢者等への地域の見守り体制など、地域関係者や関係機関と連携し、日常生活圏内の社会資源等を活用しながら、支援体制の構築を目指していきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の実施	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題1 地域包括ケアシステムの深化・推進				
1	生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置 ■計画書P77	<p>住み慣れた地域で高齢者の日常生活を支え合う体制づくりをめざし、各地域における課題および資源を把握し、課題を解決するために、高齢者支援センターが事務局となって地域住民、介護事業所職員および行政職員などが話し合いなどを行う場（第2層協議体）を市内5か所に設置しています。</p> <p>また、協議体をけん引するとともに、生活支援ニーズと社会資源やサービスのマッチングなどを担う「第2層生活支援コーディネーター」を各高齢者支援センターに配置しています。</p> <p>令和2年度より北広島市内全域を統括する第1層協議体の運営などを業務委託しています。</p> <p>計画値 令和4年度 生活支援コーディネーター 6人 第1層 1人 第2層 5人 協議体数 6か所 第1層 1か所 第2層 5か所</p>	<p>生活支援コーディネーター 第1層 1人 第2層 5人 協議体 第1層 1か所 第2層 5か所</p> <p>令和4年度（4月～12月） 第1層協議体 1回開催 第2層協議体 11回/4圏域 （2圏域合同開催含）</p> <p>令和4年度（年間見込み） 第1層協議体 2回開催 第2層協議体 17回/4圏域 （2圏域合同開催含）</p> <p>令和3年度 第1層協議体 2回開催 第2層協議体 9回/4圏域 （2圏域合同開催含）</p> <p>令和2年度 全体会（第1層協議体） 2回開催 第2層協議体 5回/3圏域</p>	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、各地域の実情に応じて、感染症予防対策を取ったオンラインと対面のハイブリッド式会議や対面会議を開催しています。</p> <p>東部地区の第2層協議体は、協議体をけん引する生活支援コーディネーターを南北の地区でそれぞれ配置していますが、状況に応じて、東部地区を一つとして合同開催しています。令和4年度は、市民や関係機関相互のつながりを強化するため、当初より合同開催を進めています。</p> <p>今年度は、各圏域において、コロナ禍における活動や地域の防災活動等について、地域活動団体・町内会・民生委員などと意見交換を図ったり、関係者間の交流等の橋渡しをしています。</p>



No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題1 地域包括ケアシステムの深化・推進				
1 地域包括ケアシステムの深化・推進	地域ケア会議の開催	地域包括ケアシステムの実現に向け、高齢者個人への支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を進めることを目的に、多職種が協働して支援内容を検討し、その検討結果から共通の要因を探り、地域づくりや新たな資源開発および政策形成につなげます。自立支援ケア会議と地域ケア個別会議、それらを統括した地域ケア推進会議を開催します。	令和4年度(4月~12月) (回数/検討件数/参加人数) 地域ケア個別会議 市主催 2回/2件/11人 高齢者支援センター主催 5回/5件/35人 自立支援ケア会議 7回/9件/112人	自立支援ケア会議では、高齢者の自立支援について、多職種がそれぞれの専門性に基づいて意見を出し合い、ケアマネジャーが情報収集や分析の視点を広げ、支援の方向性を検討する機会としています。
	■計画書P78	計画値 令和4年度 地域ケア個別会議 市主催 回数 2回 検討件数 2件 参加人数 20人 高齢者支援センター主催 回数 4回 検討件数 4件 参加人数 30人 自立支援ケア会議 回数 7回 検討件数 20件 参加人数 80人 地域ケア推進会議 回数 1回 参加人数 10人	令和4年度(年間見込み) 地域ケア個別会議 市主催 2回/2件/11人 高齢者支援センター主催 7回/7件/47人 自立支援ケア会議 10回/13件/161人 自立支援ケア統括会議 1回/21人 令和3年度 地域ケア個別会議 市主催 2回/2件/13人 高齢者支援センター主催 11回/11件/74人 自立支援ケア会議 10回/17件/163人 自立支援ケア統括会議 1回/20人 令和2年度 地域ケア個別会議 市主催 1回/1件/6人 高齢者支援センター主催 2回/2件/12人 自立支援ケア会議8回/19件/104人 地域ケア推進会議 1回/15人	さらに、自立支援ケア会議統括会議では、個別事例の課題分析等を積み重ね、共通した地域課題を明確化し、解決に必要な資源開発や政策形成へのつながりを検討する機会としています。 地域ケア個別会議では、適切な支援介入につながっていない事例、運転免許返納の支援アプローチなどについて、個々の状況に応じた支援の方向性について検討しています。 今後も、個別ケースの検討を積み重ねる中で、地域に不足している資源やサービス、重層的な関係機関との連携、地域の課題などを関係者で共有し、地域包括ケアシステムを構築していくための一つの手法として、継続して開催していきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題2 在宅医療・介護連携を図るための体制整備				
1	在宅医療と介護の連携推進 ■計画書P79	<p>医療および介護の専門職などで構成する「北広島市在宅医療介護連携推進協議会」を開催し、課題解決に向けた協議と、専門部会を通じた具体的な取組を進めながら、切れ目のない医療と介護の連携を推進します。</p> <p>また、これまで、高齢者支援センターが総合相談の一環として、在宅医療と介護の連携に関する相談窓口を担っていましたが、高齢者の増加に伴う相談件数の増加が見込まれることから、高齢者支援センターに医療介護連携コーディネーターを計画的に配置していきます。</p> <p>計画値 令和4年度 在宅医療介護連携推進協議会 全体会 3回 研修企画部会 2回 認知症部会 2回 市民周知部会 2回 在宅医療・介護連携に関する相談 実件数 380件/延べ件数 1,000件 医療介護連携相談員の配置 1人</p>	<p>・在宅医療介護連携推進協議会 令和4年度(4~12月) 構成員(継続16人、新規4人) 全体会 2回 研修企画部会 2回 認知症部会 2回 市民周知部会 2回 令和4年度(年間見込み) 全体会 3回 研修企画部会 3回 認知症部会 3回 市民周知部会 3回 令和3年度 構成員(継続17人、新規3人) 全体会 3回 研修企画部会 3回 認知症部会 3回 市民周知部会 3回 令和2年度 構成員(継続13人、新規7人) 全体会 2回(書面会議含) 研修企画部会 1回 認知症部会 1回 市民周知部会 1回 ・在宅医療・介護連携に関する相談 令和4年度(上半期) 実人数 192件/延べ 601件 令和4年度(年間見込み) 実人数 380件/延べ 1,000件 令和3年度 実人数 385件/延べ 965件 令和2年度 実人数 297件/延べ 866件 ・医療介護連携コーディネーター 令和4年度(年間見込み) 高齢者支援センター配置数 1人</p>	<p>在宅医療介護連携推進協議会については、全体会と3つの専門部会で、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のためオンラインによる会議を継続しています。</p> <p>部会等での検討を踏まえ、専門職向け研修、市民向け講座等を開催し、市内の医療機関や介護事業所等が顔の見える関係を築き、連携を深める機会としています。</p> <p>今後も、全体会と専門部会を連動させ、在宅医療・介護連携における地域の課題整理や解決に向けた検討を継続的に進めていきます。</p> <p>今年度から、みなみ高齢者支援センターに医療介護連携コーディネーター1名を配置し、医療と介護の連携に関する相談内容をまとめ、実態把握に努めています。また、関係機関へ安心つながり手帳の活用を促しています。</p> <p>今後も医療介護連携コーディネーターを各高齢者支援センターに配置するよう計画してまいります。</p>

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題3 介護に取り組む家族等への支援等				
1 介護に取り組む家族等への支援等	家族支援事業  ■計画書P80	<p>家族の介護をしている方を対象に、介護知識や技術の習得および情報交換を通じて、心身の介護負担の軽減を図るための支援を行います。</p> <p>計画値 令和4年度 介護と上手につきあう講座 実施回数 3回 参加人数 60人</p>	<p>令和4年度（実績） 介護と上手につきあう講座 ・認知症サポート医によるもの忘れ相談 実施回数 2回 参加人数 3人 ・在宅介護に関するオンライン映画上映会 実施回数 1回 視聴人数 51人</p> <p>令和3年度 介護と上手につきあう講座 ・認知症サポート医によるもの忘れ相談 実施回数 2回 参加人数 4人 ・在宅介護に関するオンライン映画上映会 実施回数 1回 視聴人数 73人</p> <p>令和2年度 介護と上手につきあう講座 ・認知症サポート医によるもの忘れ相談 実施回数 1回 参加人数 3人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、昨年度に引き続き、個別相談やオンライン上映会にて、認知症に関する介護や治療などの日頃の心配ごとへの対応、在宅介護の取組に関する知識普及を図りました。</p> <p>今後も、多くの市民に参加してもらえるよう、介護者の課題に応じて、関係機関や専門職等と連携して取り組んでまいります。</p>
	紙おむつ購入費の助成  ■計画書P80	<p>在宅で寝たきりの高齢者または重度身体・知的障がい者で常時紙おむつを使用している方を対象に、「紙おむつ購入助成券」を交付し、紙おむつの購入費を助成します。</p> <p>また、常時紙おむつを使用している方に指定ごみ袋を一定枚数交付します。おむつサービスは、世帯の住民税の課税状況によって年間の助成額が決まります。</p> <p>非課税世帯 60,000円 課税世帯 30,000円</p> <p>計画値 令和4年度 利用者数 216人</p>	<p>令和4年度（4月～12月） □住民税課税世帯 114人 □住民税非課税世帯 129人 □利用世帯合計 243人</p> <p>令和4年度（年間見込み） □住民税課税世帯 135人 □住民税非課税世帯 144人 □利用世帯合計 279人</p> <p>令和3年度 □住民税課税世帯 122人 □住民税非課税世帯 123人 □利用世帯合計 245人</p> <p>令和2年度 □住民税課税世帯 115人 □住民税非課税世帯 134人 □利用世帯合計 249人</p>	<p>今後も利用者増加が見込まれるものの、令和3年度から、対象となる高齢者本人が住民税課税の場合、国の地域支援事業交付金補助対象外となっていることから、財源の確保等についての検討が必要なものと考えております。</p>

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題4 高齢者虐待の防止と権利擁護の推進				
1	高齢者虐待防止ネットワーク事業  ■計画書P81	高齢者虐待防止への理解を広めるとともに、家庭および施設内において虐待の早期発見・早期対応が図れるよう、高齢者支援センター、警察、消防、介護事業所および民生委員児童委員などとの連携および継続的な会議や研修を行います。 計画値 令和4年度	令和4年度（4月～12月） 相談延べ件数 7件 虐待認定件数 2件 市と厚別警察署の連携推進会議実施回数 1回 研修会実施回数 1回 研修会参加人数 28人  令和4年度（年間見込み） 相談延べ件数 8件 虐待認定件数 3件 市と厚別警察署の連携推進会議実施回数 1回 研修会実施回数 1回 研修会参加者数 28人  令和3年度 相談延べ件数 12件 虐待認定件数 6件 市と厚別警察署の連携推進会議実施回数 1回 研修会実施回数 1回 研修会参加者数 67人  令和2年度 相談延べ件数 15件 虐待認定件数 4件 市と厚別警察署の連携推進会議実施回数 1回 研修会実施回数 1回 研修会参加人数 51人	高齢者虐待の相談件数ならびに認定件数はここ数年概ね横ばいであり、今年度はやや減少傾向にあります。ケアマネジャーの相談や警察からの通報が多い状況ですが、相談件数の増減のみで評価できるものではなく、個々の相談に対しコア会議やケース会議を随時開催し、虐待や緊急性の判断、支援の方向性について関係機関との役割分担を明確にしながら、早期発見・早期対応に努めていくことが重要です。 また、虐待は介護負担や生活困窮、養護者の精神疾患など様々な要因により発生することから、保健福祉部のみならず庁内外との連携を図り横断的支援を行っていくことが求められます。 なお、昨年度に引き続き、養介護施設従事者による虐待が発生したことを踏まえ、今後とも再発防止の視点を取り入れた会議・研修等を継続的に実施します。 今年度の研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインで開催し、初めてオンライン上でのグループワークを取り入れました。他事業所の取り組みを知る機会となり、参加者から参考になったとの声が聞かれました。
		相談延べ件数 20件 虐待認定件数 10件 市と厚別警察署の連携推進会議実施回数 2回 研修会実施回数 1回 研修会参加者数 60人		

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題4 高齢者虐待の防止と権利擁護の推進				
2	成年後見センターの運営 ■計画書P82  社会福祉協議会独自事業 ■計画書P82	平成28年7月に設置した北広島市成年後見センターにおいて、相談支援、成年後見制度利用支援、市民後見人養成講座の実施および普及啓発などを行うとともに、社会福祉協議会事業である日常生活自立支援事業および法人後見事業と連携を図り、一体的かつ継続的な権利擁護支援を行います。 また市民がメリットを実感できる制度運用にむけ、地域連携ネットワークを担う中核機関などの体制整備に向けて段階的・計画的に検討していきます。 計画値 令和4年度 成年後見センターの運営 相談延べ件数 850件 市民後見人養成講座 1回 市民後見人養成講座修了生 10人 市民後見人フォローアップ講座開催回数 2回 社会福祉協議会独自事業 日常生活自立支援事業 6件 生活あんしん事業 6件 法人後見受任件数 19件	【成年後見センターの運営】 令和4年度(4月～12月) 相談延べ件数 1,160件 市民後見人養成講座 0回 市民後見人養成講座修了生 0人 市民後見人フォローアップ講座開催回数 0回 令和4年度(年間見込み) 相談延べ件数 1,300件 市民後見人養成講座 1回 市民後見人養成講座修了生 10人 市民後見人フォローアップ講座開催回数 0回 令和3年度 相談延べ件数 899件 市民後見人養成講座 中止 市民後見人養成講座修了生 0人 市民後見人フォローアップ講座開催回数 中止 令和2年度 相談延べ件数 1,000件 市民後見人養成講座 0件 市民後見人養成講座修了生 0人 市民後見人フォローアップ講座開催回数 0回 【社会福祉協議会独自事業】 令和4年度(4月～12月) 日常生活自立支援事業 3件 生活あんしん事業 7件 法人後見受任件数 17件 令和4年度(年間見込み) 日常生活自立支援事業 4件 生活あんしん事業 8件 法人後見受任件数 18件 令和3年度 日常生活自立支援事業 5件 生活あんしん事業 7件 法人後見受任件数 15件 令和2年度 日常生活自立支援事業 5件 生活あんしん事業 2件 法人後見受任件数 14件	成年後見センターにおける相談件数は年々増加傾向であり、社会福祉協議会の独自事業と一体的かつ継続的に実施することにより効果を発揮しています。 市民後見人養成講座やフォローアップ講座等の人材育成については、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の状況からオンライン等による開催も検討し、修了生を対象として成年後見センターが意向調査を実施しましたが、ネット環境や機材が整わないといった回答が多く、中止せざるを得ない状況が続いています。 今後も利用ニーズの増加が見込まれるため、市民がメリットを実感できる制度運用となるよう、成年後見制度利用促進体制の強化およびさらなる機能の充実に向け、地域連携ネットワークを担う中核機関の設置について社会福祉協議会と検討を進めていきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題4 高齢者虐待の防止と権利擁護の推進				
2 権利擁護体制の充実	成年後見制度利用支援事業 (高齢者分) ■計画書P83	認知症、精神障がい、知的障がいなどにより、判断力が不十分な方が、財産の取引および福祉サービス利用などの各種手続きを行うときに、不利な契約を結ばれないよう支援する成年後見制度の利用促進を図るため、申立てする親族がいない場合の市長申立て、報酬などの費用助成を行います。 また、自らの意思が尊重され尊厳ある生活ができるようマイエンディングノートを作成し配布します。 計画値 令和4年度 市長申立件数 3件 報酬等の助成件数 8件 マイエンディングノート作成 2,000部	令和4年度(4月～12月) 市長申立件数 1件 報酬等の助成件数 7件 マイエンディングノート作成 2,000部 令和4年度(年間見込み) 市長申立件数 2件 報酬等の助成件数 8件 マイエンディングノート作成 2,000部 令和3年度 市長申立件数 1件 報酬等の助成件数 6件 マイエンディングノート作成 2,000部 令和2年度 市長申立件数 0件 報酬等の助成件数 5件 マイエンディングノート作成 2,000部	成年後見センターによる申立支援により、本人や親族が申立を行うケースも増えており、市長申立件数は増加していませんが、報酬等助成は増加傾向で、今後も成年後見制度の利用促進ならびに適切な利用が図られるよう、成年後見制度利用支援事業の推進に努めます。 また、マイエンディングノートの作成・配布により、意思決定支援への取り組みも継続していきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進 重点課題5 高齢者が安心できる居住環境確保				
1 高齢者の居住環境の整備	住宅改修支援事業 ■計画書P84	介護保険の介護給付および予防給付における住宅改修を円滑に進めるため、ケアマネジャー業務のうち、介護報酬に対応していない住宅改修の申請書に添付する理由書作成業務に対して手数料を支払います。 令和4年度 計画値 助成件数 106人	・住宅改修が必要な理由書作成手数料 令和4年度(4月~12月) 助成件数 42人 令和4年度(年間見込み) 助成件数 94人 令和3年度 助成件数 99人 令和2年度 助成件数 98人	前年度実績及び計画値よりも下回る見込みとなっております。 要介護(要支援)認定者の住宅改修を円滑に進めることに関連しており、引き続き事業を継続していきます。
	緊急通報システム ■計画書P85	ひとり暮らしの高齢者や重度身体障がい者の方で持病のある方や健康上の不安のある方に、急病等の緊急事態を通報できる装置とペンダント型発信機を貸与します。火災やガス漏れセンサーもあわせて設置することができます。 委託事業者への通報により、協力員や緊急時には消防署へ救援出動を要請するものです。また、毎月1回、利用者の安否確認の電話サービスを行います。 計画値 令和4年度 新規設置数 15か所 利用世帯数 84世帯	令和4年度(4月~12月) 新規設置数 4か所 うち固定型端末3か所 うち携帯型端末1か所 利用世帯数 65世帯 令和4年度(年間見込み) 新規設置数 7か所 利用世帯数 67世帯 令和3年度 新規設置数 11か所 利用世帯数 72世帯 令和2年度 新規設置数 11か所 利用世帯数 71世帯	令和3年度より携帯型端末を導入し、従来の固定型端末か携帯型端末を選べるようになり、利用者の利便性を図っています。 計画値と比較しますと、利用見込世帯数で17世帯下回る見込みですが、緊急時に有効な装置であることから、引き続き事業を継続していきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標3 安心して暮らせる環境づくりの推進				
重点課題5 高齢者が安心できる居住環境確保				
1 高齢者の居住環境の整備	緊急情報キット・エルフィンボタン普及事業  ■計画書P86	救急時に活用する医療情報などを記入するカードと、冷蔵庫に収納する筒型ケース（エルフィンボタン）を配布します。救急医療の現場で、本人が話せない状況でも、本人の持病や服薬などの情報を医療従事者などに正確に伝えることができます。 計画値 令和4年度 配布件数 890件	令和4年度（4月～12月） 配布件数 748件 令和4年度（年間見込み） 配布件数 800件 令和3年度 配布件数 323件 令和2年度 配布件数 480件	配布希望者はもとより、高齢者実態調査結果を踏まえて、新規対象となった高齢者世帯へ個別訪問等により継続的に配布しています。今年度は、配布対象年齢を10歳引き上げたことで、配布件数が増加しています。 また、配布後も情報を更新することが重要であるため、記載内容の更新を呼びかけるチラシを作成し、町内会回欄等にて啓発しています。 今後も、有効な活用ができるよう周知啓発を図ります。



No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標4 認知症施策の推進				
重点課題1 認知症施策の推進				
1	認知症サポーター養成講座  ■計画書P89～90	<p>市民が認知症についての正しい知識や対応方法を理解することを目的に、認知症の啓発活動をしている団体（「北広島市キャラバン・メイト」）の事務局を地域支え合いセンターが担い、同団体が講師となり、市民、学生および職場などを対象とした認知症サポーター養成講座を実施します。また、認知症サポーターがより具体的な対応方法を習得し、認知症の方や家族の支援ニーズに対応するために、「ステップアップ講座」を開催し、地域で活躍するしくみを構築します。</p> <p>計画値</p> <p>令和4年度</p> <p>サポーター養成講座実施回数 20回 サポーター養成数 200人 ステップアップ講座実施回数 1回 ステップアップ講座受講者数 5人 おれんじメイト登録延べ数 140人 キャラバンメイト全体会 1回 運営委員会開催回数 3回</p>	<p>令和4年度（4月～12月）</p> <p>サポーター養成講座実施回数 6回 サポーター養成数 218人 ステップアップ講座実施回数 0回 ステップアップ講座受講者数 0人 おれんじメイト登録延べ数 141人 キャラバンメイト全体会 1回 （書面開催） 運営委員会開催回数 2回</p> <p>令和4年度（年間見込み）</p> <p>サポーター養成講座実施回数 8回 サポーター養成数 230人 ステップアップ講座実施回数 0回 ステップアップ講座受講者数 0人 おれんじメイト登録延べ数 141人 キャラバンメイト全体会 1回 運営委員会開催回数 3回</p> <p>令和3年度</p> <p>サポーター養成講座実施回数 7回 サポーター養成数 126人 ステップアップ講座実施回数 0回 ステップアップ講座受講者数 0人 おれんじメイト登録延べ数 141人 キャラバンメイト全体会 1回 （書面開催） 運営委員会開催回数 4回</p> <p>令和2年度</p> <p>サポーター養成講座実施回数 2回 サポーター養成数 101人 ステップアップ講座実施回数 0回 ステップアップ講座受講者数 0人 おれんじメイト登録延べ数 140人 キャラバンメイト全体会 1回 運営委員会開催回数 3回</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校や企業等の養成講座の開催が延期や中止となっており、養成者数が減少していましたが、今年度は、徐々に回復傾向にあります。</p> <p>一方で、認知症サポーターとなった方が、より具体的な対応方法を習得するステップアップ講座を継続してきたことにより、修了者数が増え、認知症の普及啓発等の地域活動を担うチームオレンジ（おれんじメイト）活動が令和3年度から発足しています。</p> <p>今後も、認知症の方への理解ある地域づくりを推進するため、サポーター養成者等が地域で活躍できる体制を検討していきます。</p>

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等																																						
基本目標4 認知症施策の推進 重点課題1 認知症施策の推進																																										
2 認知症となっても住みやすい地域づくり	認知症初期集中支援チーム  ■計画書P91	<p>認知症または認知症が疑われる方で、医療サービスや介護サービスを受けていない40歳以上の方を対象に、チーム員（認知症サポート医、医療系専門職および介護系専門職の計3人）が、対象者の把握、情報収集、支援方法の検討および家庭訪問などを行い、高齢者支援センターなどと連携しながら集中的かつ包括的な支援を実施します。</p> <p>計画値</p> <p>令和4年度</p> <table border="0"> <tr><td>チーム員会議</td><td>4回</td></tr> <tr><td>検討実人数</td><td>4人</td></tr> <tr><td>訪問支援対象者数</td><td>1人</td></tr> <tr><td>検討委員会</td><td>1回</td></tr> </table>	チーム員会議	4回	検討実人数	4人	訪問支援対象者数	1人	検討委員会	1回	<p>チームの設置：対象者毎に編成</p> <table border="0"> <tr><td>認知症サポート医</td><td>1人</td></tr> <tr><td>チーム員候補者</td><td>16人</td></tr> </table> <p>令和4年度（4月～12月）</p> <table border="0"> <tr><td>チーム員会議</td><td>3回/3事例</td></tr> <tr><td>うち訪問対象者数</td><td>0人</td></tr> </table> <p>令和4年度（年間見込み）</p> <table border="0"> <tr><td>チーム員会議</td><td>5回/5事例</td></tr> <tr><td>うち訪問対象者数</td><td>0人</td></tr> <tr><td>検討委員会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>チーム員意見交換会</td><td>1回</td></tr> </table> <p>令和3年度</p> <table border="0"> <tr><td>チーム員会議</td><td>6回/7事例</td></tr> <tr><td>うち訪問対象者数</td><td>0人</td></tr> <tr><td>検討委員会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>チーム員意見交換会</td><td>1回</td></tr> </table> <p>令和2年度</p> <table border="0"> <tr><td>チーム員会議</td><td>3回/3事例</td></tr> <tr><td>うち訪問対象者数</td><td>1人</td></tr> <tr><td>検討委員会</td><td>1回</td></tr> </table>	認知症サポート医	1人	チーム員候補者	16人	チーム員会議	3回/3事例	うち訪問対象者数	0人	チーム員会議	5回/5事例	うち訪問対象者数	0人	検討委員会	1回	チーム員意見交換会	1回	チーム員会議	6回/7事例	うち訪問対象者数	0人	検討委員会	1回	チーム員意見交換会	1回	チーム員会議	3回/3事例	うち訪問対象者数	1人	検討委員会	1回	<p>チーム員による訪問支援はありませんでしたが、もの忘れ相談の事例について、チーム員会議を活用し、支援の方向性を検討しています。</p> <p>在宅医療介護連携推進協議会の認知症部会の構成員で構成される検討委員会やチーム員同士の意見交換会を開催する中で、地域の実情にあったチーム支援について、継続的に検討を進めながら体制を構築していきます。</p>
	チーム員会議	4回																																								
検討実人数	4人																																									
訪問支援対象者数	1人																																									
検討委員会	1回																																									
認知症サポート医	1人																																									
チーム員候補者	16人																																									
チーム員会議	3回/3事例																																									
うち訪問対象者数	0人																																									
チーム員会議	5回/5事例																																									
うち訪問対象者数	0人																																									
検討委員会	1回																																									
チーム員意見交換会	1回																																									
チーム員会議	6回/7事例																																									
うち訪問対象者数	0人																																									
検討委員会	1回																																									
チーム員意見交換会	1回																																									
チーム員会議	3回/3事例																																									
うち訪問対象者数	1人																																									
検討委員会	1回																																									

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標4 認知症施策の推進 重点課題1 認知症施策の推進				
2 認知症になっても住みやすい地域づくり	認知症支え合い事業	認知症支え合い活動の拠点である地域支え合いセンターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方の見守りや話し相手をする「認知症支え合い員」の養成および派遣の調整を行います。	令和4年度(4月～12月) 利用者数 3人 訪問延べ回数 47回 支え合い員養成講座数 1回 登録支え合い員数 31人 フォローアップ講座数 1回	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、流行の波が大きい時期は、認知症支え合い員の訪問派遣を見合わせ、電話やオンラインで対応していましたが、今年度からは訪問中心に切り替えて、活動を行っています。 今年度は、認知症支え合い員養成講座の開催方法を見直し、講座日数を減らす等の工夫を行うとともに、フォローアップ講座と兼ねて同日に開催しました。参加しやすい環境を整えたことで、想定以上の多くの申込みがあり、登録支え合い員数の増加に繋がりました。 今後は、利用ニーズを評価し、事業内容を検討、見直していきます。
	■計画書P92	計画値 令和4年度 利用者数 9人 訪問延べ回数 190回 支え合い員養成講座数 1回 登録支え合い員数 51人 フォローアップ講座数 1回	令和4年度(年間見込み) 利用者数 4人 訪問延べ回数 60回 支え合い員養成講座数 1回 登録支え合い員数 31人 フォローアップ講座数 1回 令和3年度 利用者数 7人 訪問延べ回数 85回 (電話・オンラインを含む) 支え合い員養成講座数 0回 登録支え合い員数 24人 フォローアップ講座数 3回 令和2年度 利用者数 8人 訪問延べ回数 35回 支え合い員養成講座数 0回 登録支え合い員数 32人 フォローアップ講座数 0回	

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標 4 認知症施策の推進 重点課題 1 認知症施策の推進				
2 認知症となっても住みやすい地域づくり	認知症カフェ ■計画書 P92	認知症の方とその家族が、専門職やボランティアとともに気軽に集える場として認知症カフェがあります。多くの方が参加できるよう、事業の周知に努めていきます。 計画書 令和4年度 開設数 5か所	令和4年度(4月～12月) 開設数 4か所 令和4年度(年間見込み) 開設数 4か所 令和3年度 開設数 4か所 令和2年度 開設数 5か所	今年度は、開設数の増減はありませんでした。 介護事業所、高齢者支援センター、地域住民等の様々な主体が各地で特徴ある運営をしています。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休止していたカフェも徐々に活動を再開し始めました。 今後も主体性を重視しながら、市や高齢者支援センターによる人的支援、会場借用や傷害保険加入の側面的支援を継続していきます。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標4 認知症施策の推進 重点課題1 認知症施策の推進				
2 認知症となっても住みやすい地域づくり	認知症高齢者等SOS ネットワーク事業  ■計画書P93	<p>行方不明になった認知症高齢者等を保護するため、警察、市、介護事業所やタクシー、バス事業者などの関係機関が連携し、捜索するネットワークです。</p> <p>また、平成30年度から事前に登録されたメールアドレスに行方不明者が発生した場合、その方の情報を配信するサービスを実施しています。</p> <p>計画値 令和4年度 新規事前登録者数 25人 メール配信登録者数 520人 協力機関数 50か所 捜索模擬訓練参加者数 50人 個人賠償責任保険加入者数 155人</p>	<p>令和4年度（4月～12月） 登録者数 130人 協力機関数 39か所 模擬訓練は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 メール配信登録者数 424人</p> <p>令和4年度（年間見込み） 登録者数 139人 協力機関数 39か所 メール配信登録者数 430人</p> <p>令和3年度 登録者数 143人 協力機関数 38か所 模擬訓練は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 メール配信登録者数 403人</p> <p>令和2年度 登録者数 114人 協力機関数 41か所 模擬訓練は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 メール配信登録者数 332人</p>	<p>今年度のメール配信実績は7件となっております。</p> <p>今後も早期発見につながるよう制度の周知に努めます。</p>
	いどころ発信システム 助成事業  ■計画書P94	<p>行方不明となるおそれのある認知症高齢者等を在宅で介護する方に、居場所を発見できる発信機を購入する際の初期費用の一部を助成します。</p> <p>計画値 令和4年度 助成対象者数 8人</p>	<p>令和4年度（4月～12月） 助成対象者数 0人</p> <p>令和4年度（年間見込み） 助成対象者数 1人</p> <p>令和3年度 助成対象者数 1人</p> <p>令和2年度 助成対象者数 2人</p>	<p>行方不明のおそれがある認知症高齢者等の早期発見につながることから、今後も普及に向けたPR等に努めます。</p>

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標5 適切な介護保険事業の運営				
重点課題1 効果的・効率的な介護給付の推進				
1 低所得者対策の推進	介護保険利用者の軽減対策  ■計画書P95	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人等による利用料負担軽減制度所得が低く生活困窮となっている方に対して、必要な介護保険サービス利用のために、介護サービスを行う社会福祉法人が、その社会的役割の一環として当該法人の負担により（一部公的補助あり）、利用者負担額を軽減する制度です。</li> </ul> 当該法人が提供する訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、特別養護老人ホーム等のサービスに関する利用者負担について原則4分の1（生活保護受給者の個室の居住費（短期入所生活介護の滞在費を含む。）については全額）を軽減しています。	令和4年度（12月末時点） 軽減対象者 23名 令和3年度 軽減対象者 24名 令和2年度 軽減対象者 23名	今後も関係機関と連携を図り事業を継続していきたいと考えております。

No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標5 適切な介護保険事業の運営				
重点課題1 効果的・効率的な介護給付の推進				
2 介護保険の質的向上	介護給付に要する費用の適正化  ■計画書 P95	介護給付の適正化は、介護保険制度の信頼性を高め、持続可能な制度運営につながります。国民健康保険団体連合会が提供する給付情報等を活用し、北海道の協力のもと、給付適正化の推進を図ります。 ア 要介護認定の適正化 イ ケアプランの点検 ウ 住宅改修等の点検 エ 縦覧点検・医療情報との突合	ア 要介護認定の適正化 令和4年度（4～12月） 研修回数 2回 審査件数 2,289件 令和3年度 研修回数 2回 審査件数 2,013件 ※審査件数は、新型コロナウイルス感染症の影響による有効期間延長措置対象件数を除く 令和2年度 研修回数 3回 審査件数 1,585件 ※審査件数は、新型コロナウイルス感染症の影響による有効期間延長措置対象件数を除く イ ケアプランの点検 ・外部業者委託によるケアプランの点検 令和4年度 ケアプランの点検 19件 オンライン研修 1回 令和3年度 ケアプランの点検 30件 オンライン研修 1回 令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響のため中止	ア 審査委員を対象とした研修、及び認定調査員を対象とする研修に参加し、要介護認定の適正化に努めています。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実地での研修実施が困難な場合があることから、新しく認定調査業務に携わる介護支援専門員等を中心に、e-ラーニングシステムによる受講を積極的に呼び掛けています。  イ 令和3年度より実施している事業です。今年度は事業所の業務負担の観点から実施規模を縮小しました。今後も事業内容を検討し、継続して実施します。

	<p>介護給付に要する費用の適正化（続き）</p> <p>■計画書 P95</p>		<p>ウ 住宅改修等の点検</p> <p>令和4年度（4月～12月） 実施件数 227件</p> <p>令和3年度 実施件数 269件</p> <p>令和2年度 実施件数 296件</p> <p>エ 縦覧点検・医療情報との突合</p> <p>令和4年度（4月～12月） 縦覧点検 460件 医療情報との突合 334件</p> <p>令和3年度 縦覧点検 1,268件 医療情報との突合 1,006件</p> <p>令和2年度 縦覧点検 1,803件 医療情報との突合 1,056件</p>	<p>ウ 改修工事前に見積書、理由書、住宅改修図（写真含む）の点検等を福祉住環境コーディネーターが行いました。その結果、訪問を検討する案件はありませんでした。</p> <p>エ 点検及び突合により給付請求の誤りを発見し、事業所に修正を依頼することで、適正な給付請求に資することができています。</p>
--	---	--	--	--



No.	施策・事業名	計画の概要	令和4年度の取組み	評価と課題等
基本目標5 適切な介護保険事業の運営				
重点課題1 効果的・効率的な介護給付の推進				
2 介護保険の質的向上	<p>介護保険サービスの給付制限</p> <p>■計画書P97</p>	<p>社会保険制度の一つである介護保険は、被保険者同士が互いを支え合う相互扶助により成り立っています。</p> <p>一定の保険料を滞納している方が、保険給付を受ける際に、給付の償還払い化、一時差止、差止額から滞納保険料を控除する措置や未納期間に応じた給付減額を実施することで、被保険者間の公平性の確保を図ります。</p>	<p>ア 給付の償還払い化</p> <p>令和4年度 実績なし</p> <p>令和3年度 実績なし</p> <p>令和2年度 実績なし</p> <p>イ 給付の支払いの一時差止</p> <p>令和4年度 実績なし</p> <p>令和3年度 実績なし</p> <p>令和2年度 実績なし</p> <p>ウ 差止額からの滞納保険料の控除措置</p> <p>令和4年度 実績なし</p> <p>令和3年度 実績なし</p> <p>令和2年度 実績なし</p> <p>エ 給付額の減額</p> <p>令和4年度 2件</p> <p>令和3年度 4件</p> <p>令和2年度 1件</p>	<p>今後も被保険者間の公平性の確保のため、適正に実施していきます。</p>